○動物実験の実施に係る申請書の様式について

（平成１５年１０月３１日通達第９３号）

改正　平成１７年３月１０日通達第８号　平成１８年１２月２７日通達第７８号
平成１９年３月３０日通達第３０号　平成２０年３月３１日通達第３５号
平成２１年２月２６日通達第３号　平成２３年１２月６日通達第８３号
平成２５年３月２８日通達第２６号　平成３０年３月２２日通達第７０号

（趣旨）

１　動物実験実施規程（平成１５年規程第１２９号）に規定する書類の様式は、様式第１号から様式第７号のとおりとする。

２　動物実験内容、施設その他の事情を考慮して必要が有ると認めるときは、審査委員会において、前項の様式に新たな項目を追加することができるものとする。

３　様式第２号により申請される動物実験の実施予定期間は、最大２事業年度以内とする。

附　則

この通達は、平成１５年１１月１日から施行する。

附　則（平成１７年３月１０日通達第８号）

この通達は、平成１７年４月１日から施行する。

附　則（平成１８年１２月２７日通達第７８号）

この通達は、平成１９年４月１日から施行する。

附　則（平成１９年３月３０日通達第３０号）

この通達は、平成１９年４月１日から施行する。

附　則（平成２０年３月３１日通達第３５号）

この通達は、平成２０年４月１日から施行する。

附　則（平成２１年２月２６日通達第３号）

この通達は、平成２１年４月１日から施行する。

附　則（平成２３年１２月６日通達第８３号）

この通達は、平成２４年１月１日から施行する。

附　則（平成２５年３月２８日通達第２６号）

この通達は、平成２５年４月１日から施行する。

附　則（平成３０年３月２２日通達第７０号）

この通達は、平成３０年４月１日から施行する。

様式第１号（第１７条関係）

動物実験従事者・飼育技術者登録申請書（新規・変更）
［別紙参照］

様式第２号（第２４条関係）

動物実験計画承認申請書（新規・継続・変更）
様式第２号
［別紙参照］

様式第３号（第２４条関係）

動物実験従事者届
様式第３号
［別紙参照］

様式第４号（第２６条関係）

動物実験報告書
様式第４号
［別紙参照］

様式第５号（第２７条関係）

動物実験に係る施設承認申請書（新規・変更）
様式第５号
［別紙参照］

様式第６号（第２７条関係）

動物実験に係る施設廃止届
様式第６号
［別紙参照］

様式第７号（第２９条関係）

実験動物飼育管理報告書
様式７号
［別紙参照］

様式第１号（第１７条関係）

動物実験従事者・飼育技術者登録申請書（新規・変更）

申請日：平成　　年　月　日

＿＿＿＿＿動物実験監督者殿

所　属	
所属長	印

動物実験実施規程第１７条の規定に基づき、下記の者について動物実験従事者・飼育技術者の登録を申請致します。

記

1. 申請区分

□新規　□変更（□氏名　□職名変更　□所属変更　□その他　　　　　） （変更の場合は既得登録番号：　　－　　　　）

2. 登録区分

□実験従事者　□飼育技術者

3. 登録希望者

ﾌﾘｶﾞﾅ		連絡先内線	
氏 名		e-mail	
ID カード番号	（在籍状況確認のため、番号をお持ちの方は御記入下さい。）		
理研における職名等			
所属センター等			
職名			
本務機関名、所属、職名（理研と直接雇用の関係に無い場合に記入してください。）			

4. 実験動物の取扱い歴

□無　□有（有の場合、動物種：　　　　取扱年数：　　　　）

以上

様式第２号（第２４条関係）

センター長等	監督者

受付番号：〔　　　—　　　〕

動物実験計画承認申請書（新規・継続・変更）

申請日：　　　年　　月　　日

＿＿＿＿＿事業所長　殿

所　属	
所属長	印
動物実験責任者* （職名）	（　　　　　　　　）　印
内線:　　　、FAX:　　　、 e-mail:	

（*動物実験従事者の中から所属長が指名：規程第 14 条参照）

動物実験実施規程第２４条の規定に基づき、下記の動物実験計画の承認を申請致します。

記

【申請区分】

□新規 □継続（前･課題番号：　　　－　　　　　） □変更*（現･課題番号：　　　－　　　　　） （*変更申請の場合、承認済みの全内容を記載し、今回追加／変更を申請する箇所に下線、また削除する箇所は見え消し（取り消し線をひく等）にしてください。）
変更の概要（簡潔に）：

1．研究課題名

2．研究の目的

3．動物を用いる必要性

（具体的に）：

4．動物使用の代替法の検討状況

□代替法がない □代替法では精度が不十分 □その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

5．動物実験実施予定期間

開始/変更希望日〔　　　年　　　月　　　日〕～終了予定日〔　　　年　　　月　　　日〕

6．実験の概要

6-1　内容と苦痛度

1）内容（実験の具体的な流れを簡潔に記入してください。）

2）実験操作と苦痛度（該当項目をチェックし、項目毎に具体的内容を書いてください。）

項目	具体的操作	苦痛度**
□材料採取		
□試料投与		
□感染実験		
□放射線関連 (RI 投与、放射線照射、X線照射)		
□外科的処置		
□繁殖		
□行動の観察		
□環境ストレス		
□特殊飼育		
□その他 （　　　　　）		

*苦痛度Dの場合は、使用予定数と人道的エンドポイントも記入してください。

**苦痛度の区分表を参照し、該当する苦痛度(B~D)を記入してください。

6-2　動物の苦痛軽減のための処置（安楽死処置に際しての麻酔薬の使用については6-3へ記載のこと）
（動物種毎に記載してください。）

動物種	苦痛軽減処置方法	
	□麻酔法	（薬品名、投与量・方法）
	□保定法	（方法、使用器具名、保定時間）
	□その他	（具体的に記載。苦痛の軽減処置を行わない場合は、その理由も記入してください。）
	□麻酔法	（薬品名、投与量・方法）
	□保定法	（方法、使用器具名、保定時間）
	□その他	（具体的に記載。苦痛の軽減処置を行わない場合は、その理由も記入してください。）

※必要に応じて行を追加してください。

6-3　安楽死処置方法など動物の終末処置

1）動物の安楽死処置方法（動物種毎に記載してください。）

動物種	終末処置方法	
	□麻酔薬の投与	（薬品名・投与量・方法）
	□中枢破壊（頚椎脱臼など）	
	□炭酸ガス吸入	
	□その他の方法	（具体的に記載）
	□麻酔薬の投与	（薬品名・投与量・方法）
	□中枢破壊（頚椎脱臼など）	
	□炭酸ガス吸入	
	□その他の方法	（具体的に記載）

※必要に応じて行を追加してください。

2）その他（動物を他の実験へ利用など）

3）死体(臓器、組織)等の廃棄

□飼育管理者に依頼　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

6-4　安全管理に特に注意を払う必要がある実験（他の承認または届出など）

□無　□有（有の場合は、以下の該当項目をチェックし、承認番号等を記載）

項　目	申請時の承認番号等
□遺伝子組換え実験	
□麻薬(ケタミンなど*)・向精神薬(ペントバルビタールなど*)の使用	
□エックス線照射	
□（放射線障害予防規程に係る）放射性物質及び放射線発生装置の使用	
□微生物等使用実験	
□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　）	

*ケタミン：ケタミン及びその塩、ケタラールなど。
ペントバルビタール：ペントバルビタール及びその塩、ネンブタール、ソムノペンチルなど。

7．実験等実施施設名（施設は、登録されている必要があります。）

施設の区分	動物種	施設名		
		建物	階	号室
飼育施設				
保管施設				
実験施設				

※必要に応じて行を追加してください。

8．使用予定動物（科学上の利用の目的を達する事ができる範囲において、できる限りその利用に供される動物の数を少なくすること。）（記載しきれない場合は別紙にて添付、または列を増やしてください。）

動物種				
系統の種類*	非組換え／組換え	非組換え／組換え	非組換え／組換え	非組換え／組換え
使用予定数（匹）**				
搬入元				
微生物学的清浄度***				

*「非組換え」：非遺伝子組換え動物、「組換え」：遺伝子組換え動物、どちらかを選んでください。
（遺伝子組換え動物の入手・使用等は、遺伝子組換え実験に該当し、あらかじめ別途申請、承認が必要となります。また、搬入・搬出時にも、手続きが必要となります。）
**使用予定動物数は、系統の維持繁殖等に使用する分を含めた総動物数を記入してください。但し、胎児（誕生前）を使用する場合、胎児の数ではなく、母獣の数を記入してください。
***動物の微生物学的清浄度については、SPF・CV の別を記載してください。

9．備考

以上

注意：新規または継続申請の場合は、「動物実験従事者届(様式第３号)」を併せて提出してください。

様式第３号（第２４条関係）

センター長等	監督者

受付番号：〔　　　—　　　〕

動物実験従事者届

届出日：　　　年　　月　　日

安全管理部長等　殿

所　属	
所属長	印
動物実験責任者	
内線:　　　　、FAX:　　　　、 e-mail:	

動物実験計画承認申請書（承認番号：　　—　　　）の動物実験計画に係る動物実験従事者・飼育技術者を、下記のようにしたいので、動物実験実施規程第２４条の規定に基づき、届出致します。

記

1. 研究課題名

2. 動物実験従事者・飼育技術者

（*内容変更の場合、届出済みの全内容を記載し、今回追加する箇所に下線、また削除する箇所は見え消し（取り消し線をひく等）にしてください。）

氏名	所属	登録番号
(動物実験責任者)		

※必要に応じて行を追加してください。

以　上

様式第４号（第２６条関係）

センター長等	監督者

受付番号：〔　　　―　　　〕

動物実験報告書

提出日：　　　年　　月　　日

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿事業所長殿

所　属	
所属長	印
動物実験責任者	印
内線:　　　　、FAX:　　　　、 e-mail:	

動物実験承認申請書〔承認番号：　　―　　　〕に係る実験について、動物実験実施規程第２６条の規定に基づき、下記の通り報告致します。

記

1．研究課題名

2．この報告書に記載する期間

平成　　年度に動物実験を：□実施した（以下を記載）　□実施しなかった※(3. 以下記載不要)
（報告する期間：平成　　年　　月　　日 〜 平成　　年　　月　　日まで）
※実施しなかった場合はその理由を記載してください。 理由：

3．動物実験計画の変更の有無

□無　　□有　※(最終変更　　年　　月　　日付承認)
※変更「有」の場合その概要を記載してください。 変更の概要(簡潔に)：

4．実施した動物実験の概要

1）動物実験の総括

(1)実験実施内容のまとめ：
(2)得られた結果：
(3)発表等報告状況：

2）苦痛の軽減・排除など動物福祉に配慮した点

※計画書に記載した人道的エンドポイントが発生した場合は、その対応状況についても記載すること

3）安楽死処置の方法（承認されたもののうち、実際行った方法を動物種毎に記載してください。）

動物種	安楽死処置方法	
	□麻酔薬の投与	（薬品名・投与量・方法）
	□中枢破壊（頚椎脱臼など）	
	□炭酸ガス吸入	
	□その他の方法	（具体的に記載）
	□麻酔薬の投与	（薬品名・投与量・方法）
	□中枢破壊（頚椎脱臼など）	
	□炭酸ガス吸入	
	□その他の方法	（具体的に記載）

※必要に応じて行を追加してください。

4）死体、汚物等の処理

□飼育管理者に依頼　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

5．動物実験実施中に生じた動物管理上の異常

□無　□有（有の場合、具体的事象を記載してください。）

6．使用動物報告（記入しきれない場合は別紙にて添付、または列を増やしてください。）

動物種				
系統の種類*	非組換え／組換え	非組換え／組換え	非組換え／組換え	非組換え／組換え
使用動物数(匹)**				
計画書の使用予定数(匹)				

*「非組換え」：非遺伝子組換え動物、「組換え」：遺伝子組換え動物、どちらかを選んでください。

使用動物数は、報告する期間中に**系統の維持繁殖等に使用したものを含め安楽死処置(自然死を含む)した**総動物数**を記入してください。但し、胎児(誕生前)を使用した場合、胎児の数ではなく、母獣の数を記入してください。

使用した動物数について配慮した点など：

※動物の使用予定数と使用数に顕著な差があった場合は、その理由も記載すること

7．動物の搬入について(動物を搬入した場合記載してください。動物を専門業者から購入した場合も搬入に該当します。)

□無　□有（有の場合、以下を記載してください。）

1）検疫結果
□異常無し　□異常有り
（　　月　　日搬入分、対処結果：　　　　　　　　　　　）

2）輸送中の異常の有無
□異常無し　□異常有り
（　　月　　日搬入分、対処結果：　　　　　　　　　　　）

※必要に応じて行を追加してください。

8．備考

以　上

様式第５号（第２７条関係）

センター長等	監督者

・実験動物を取り扱う場所は、「施設」として登録されている必要が有ります。

・飼育場所には飼育施設管理者を設置する必要が有ります。

受付番号：〔　　　－　　　〕

動物実験に係る施設承認申請書（新規・変更）

申請日：平成　　年　　月　　日

＿＿＿＿＿＿事業所長殿

所　属	
所属長	印
内線:　　　、FAX:　　　、 e-mail:	

下記の施設を動物実験に係る施設として登録（新規・変更）したいので、動物実験実施規程第２７条の規定に基づき、当該施設の見取図を添えて申請致します。

記

【申請区分】

□新規
□変更*
（*変更申請の場合、承認済みの全内容を記載し、今回追加／変更を申請する箇所に下線をしてください。）

1. 申請施設

施設の区分	動物種	施設名			レベル２、Ｐ２又はＰ２A 以上の実施予定**
		建物	階	号室	
動物飼育施設					□無　□有
		(飼育管理者：　　　　)			
動物保管施設*					□無　□有
		(担当者：　　　　)			
動物実験施設*					□無　□有
		(担当者：　　　　)			

*動物の保管期間は、動物保管施設においては原則として１週間、動物実験施設においては 24 時間を限度とします。

**レベル２（感染性微生物の使用）、Ｐ２又はＰ２A（遺伝子組換え実験）以上の実験の実施予定を記入してください。

***必要に応じて行を追加してください。

2. 登録予定期間

平成　　年　　月　　日より平成　　年　　月　　日まで

3. 申請理由(既存の施設では行えない理由、新たに設置する必要性などを具体的に記入してください。)

以　上

様式第６号（第２７条関係）

センター長等	監督者

受付番号：〔　　　—　　　〕

動物実験に係る施設廃止届

届出日：平成　　年　　月　　日

安全管理部長等　殿

所　属	
所属長	印
内線:　　　、FAX:　　　、 e-mail:	

動物実験に係る施設を廃止したいので、動物実験実施規程第２７条の規定に基づき、下記の通り届出致します。

記

1．施設

施設の区分	動物種	施設名		
		建物	階	号室
動物飼育施設				
		(飼育管理者：　　　　)		
動物保管施設				
		(担当者：　　　　)		
動物実験施設				
		(担当者：　　　　)		

※必要に応じて行を追加してください。

2．廃止予定日

平成　　年　　月　　日廃止 （承認登録期間：平成　　年　　月　　日より平成　　年　　月　　日まで）

3．廃止にあたっての措置（確立されている方法による化学的、生物学的汚染物質の除去、並びに原状回復等について記載してください。）

4．備考

以　上

様式第７号（第２９条関係）

センター長等	監督者

受付番号：〔　　　―　　　〕

実験動物飼育管理報告書

提出日：平成　　年　　月　　日

＿＿＿＿＿＿＿＿事業所長殿

所　属	
所属長	印
飼育管理者	印
内線:　　　　、FAX:　　　　、 e-mail:	

動物実験実施規程第２９条の規定に基づき、動物飼育施設の飼育管理状況を下記の通り報告致します。

記

1．動物飼育施設名

2．報告期間

平成　　年　　月　　日から平成　　年３月３１日まで

3．飼育動物種

□マウス　□ラット　□ウサギ　□その他の動物（　　　　　　　　）

4．飼育管理の状況について(動物の健康状態に影響した給餌・給水、死体・汚物処理のトラブル等)

5．飼育環境について(動物の健康状態に影響した温度・湿度・差圧など設備の異常等)

6. 感染症コントロールについて(検疫時、実験使用時の感染症検出・発生等)

7. 関連事故について(咬傷、火傷などの事故等)

8. 死体、汚物等の処理について

9. その他、動物愛護・福祉に関連して気づいたこと：

以　上